

ID ^{注1)}	151105	公開レベル ^{注1)}	A	保管形式 ^{注1)}	紙・電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	------	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	平成23～27年度 国指定白神山地鳥獣保護区におけるクマゲラ生息調査	発行年月/報告年月	
		2016年	2月
		資料形式 ^{注2)}	その他

調査機関	環境省 東北地方環境事務所	委託機関	
------	---------------	------	--

調査開始年	2006年	7月	調査期間	2011年	6月	～	2015年	11月
-------	-------	----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	春	秋	—
---------------------	----	---	---------------------	---	---	---

ヒアリング計画	2012年3月 策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(2)
---------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 ^{注3)}	調査手法
------------------------	------

核心地域 緩衝地域 周辺地域
 GPS等の位置データあり

※調査箇所は希少種情報につき非公開

平成16年に白神山地世界遺産地域とほぼ同じ範囲が、希少種や大型種を含む野生生物の大規模生息地として国指定白神山地鳥獣保護区に指定された。クマゲラもその保護対象の一つであり、モニタリング調査や現場巡視、白神山地世界遺産地域連絡会議との連携協力を通じて適正に保護すべき種となっている。

当該保護区では、平成18年度より国指定鳥獣保護区管理員による巡視が行われている。この巡視の範囲内で、クマゲラの生息状況の確認調査を、年に1～3回実施している。

この調査は、クマゲラのねぐらもしくは営巣木を踏査により探し、クマゲラの新しい痕跡の有無を判断する。新しい痕跡が確認できる木が見つかった場合は、少し離れた場所で定点調査を行い、クマゲラの帰巣を待つものである。

調査時期は、クマゲラを目視することのできる可能性が高い時期に実施する。春の繁殖後期(繁殖が行われている場合は巣立ち前の時期)、もしくは秋の次年度の営巣のために巣穴を整える時期に実施する。

結果概要 (スペースに収まるように入力してください)

- 平成23年度は6月に2回調査を実施した。1回目の調査時には踏査を行い、新しく掘りかけた巣穴を2箇所と、補修した痕がある巣穴を確認した。2回目の調査時には踏査で確認した地点で定点調査を行ったがクマゲラの姿・鳴き声・ドラミング音は確認できなかった。この時期は巣立ち前の雛が巣穴にいる時期だが、餌を運ぶ姿や雛が顔を出す姿が見られなかったため、今回調査を行った地点では繁殖は行われていないと考えられる。整えられていた穴や、掘りかけになっていた巣穴は、前年の秋もしくは当年の春先に繁殖のためにオスが整備したのではないかと考えられ、調査地周辺には少なくとも雄1個体は生息しているものと考えられる。
- 平成24年度は6月に1回、10月に1回調査を実施した。6月の調査時には、数日前に新しく巣穴を掘った痕跡が確認されたとの情報があった地点周辺で定点調査を行った。クマゲラの姿・鳴き声・ドラミング音は確認できなかったため、この巣穴では繁殖は行っていないものと考えられる。巣穴は新しく掘られており、下に木屑も落ちていたため当年の春に掘られたものと考えられる。10月の調査時には、6月に確認した巣穴以外に当年に空けたと思われる巣穴が見つかった。この巣穴に関しては次年度の春に繁殖しているかどうかの確認を行う。6月に新しく掘られていた巣穴に関しては10月時点で他の動物(ヤマコウモリ等)が使用している痕跡があったためクマゲラは放棄したものと考えられる。
- 平成25年度は6月に1回調査を実施した。踏査を行ったが、当年のものと思われる痕跡は認められなかった。前年の10月の調査時に確認した巣穴に関しても新しく補修した痕跡もなく、調査地周辺でクマゲラが生息している証拠は見つけられなかった。
- 平成26年度は6月に1回、11月に1回調査を実施した。6月の調査時にはアクセス道路の状況により時間が確保できなかったため、過去に巣穴を確認している地点に、新しい痕跡がないかの確認を行った。当年に開けた穴や新しい痕跡は見つけられなかった。11月の調査時には、当年の10月に目撃情報があった地点周辺で広域的に踏査を行った。目撃時にパチしていた木の巣穴には羽毛が確認でき、その木の近くにも当年の夏ごろに掘ったと考えられる掘りかけの巣穴が確認された。また周辺では、数年前に掘ったと考えられる巣穴がある木が2本確認された。そのうち一本は細くて繁殖用には向いておらず、もう一本は既に3つ穴があいていたため、どちらも繁殖用ではなく、ねぐら用と考えられる。
- 平成27年度は7月に1回、11月に1回調査を実施した。7月の調査時には踏査を行ったが新しい巣穴や補修した痕は確認されなかった。クマゲラの痕跡に関しては、調査地から少し離れた地点にクマゲラの食痕の可能性のある枯れ木を発見した。11月の調査時には、アオゲラの巣穴と種が断定出来ないキツツキの食痕を確認した。範囲を広げて踏査を行ったが、クマゲラの巣穴は古いものしか確認できなかった。

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ≪原本(データ)の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

